



早稲田大学系属

早稲田佐賀中学校

早稲田佐賀高等学校

〒847-0016 佐賀県唐津市東城内7-1

TEL 0955-58-9000(代表)

E-mail contact@wasedasaga.jp

<https://www.wasedasaga.jp>

附設寮 八太郎館

〒847-0056 佐賀県唐津市坊主町433-5

TEL 0955-80-7110

FAX 0955-80-7111



ウェブサイト



Instagram



YouTube



WASEDA SAGA

Guide Book
2026

世界にはばたく一歩を、ここから。 特別な環境がつくる、 未来への道しるべ。

2010年「九州のWASEDA」として

早稲田大学系属 早稲田佐賀中学校・高等学校が九州・唐津の地に開校。

「学問の独立」「進取の精神」「地球市民の育成」を建学の精神とし、

開校以来、日本という枠を超えた、

「確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダー」の
育成を目指してきました。

校舎そばには、歴史ある唐津城、青々と広がる海と空、

各地から集まる生徒と教師、そして自発的なチャレンジを

後押しするWASEDAのネットワーク。

一人ひとりが世界へとはばたくための環境が揃ったこの学び舎で、

生徒たちは仲間と共に日々切磋琢磨しています。

建学の精神

学問の独立

現在、そして未来のあらゆる課題に挑戦できる
基礎的な学力と実践的な応用力を育成します。

進取の精神

さまざまな事象を積極的に取り入れ、
そこから新しいものを創造する精神を育成します。

地球市民の育成

日本、そして世界の将来に貢献する
人間性豊かなリーダーとなる人材を育成します。

さまざまな分野で国内外を問わず リーダーシップを発揮できる素養を育む

佐賀県は早稲田大学の創設者である大隈重信の生誕の地であり、唐津市は天野為之の生誕地でもあります。天野為之は早稲田佐賀中学校・高等学校の校舎が建つ位置にあった唐津藩の英学校「耐恒寮」で学び、政治家、経済学者として活躍し早稲田大学第2代学長に就任するなど早稲田大学や本学園と深いつながりがあります。またこの地は幕末から明治にかけて日本の政治・産業の発展に向けて大きく貢献した人材を送り出した地でもあります。早稲田佐賀中学校・高等学校は2010年4月に開校し、10周年を経て着実に歴史を刻み成長・発展し続けています。今年度はこれまでの学園を振り返り、更なる発展に向けて改善・改革を進めていくとともに唐津市をはじめ地域とのつながりを大事にした教育活動をしてまいります。佐賀県、福岡県や九州、全国から集う生徒が切磋琢磨しながら唐津の地で学び、先人たちに倣って、将来さまざまな分野で国内外を問わずリーダーシップを発揮できる素養を本学園で育ていけるように学園を運営して参ります。



学校法人
大隈記念早稲田佐賀学園
理事長
早稲田大学常任理事
文学学術院教授
渡邊 義浩

早稲田佐賀が目指す 教育の在り方

早稲田佐賀中学校・高等学校は「学問の独立」「進取の精神」「地球市民の育成」という3つの建学の精神を掲げ、中高一貫校として2010年に佐賀県唐津市に誕生しました。唐津藩最後の藩主であった小笠原長国が新時代に活躍する人材を育成するために1871年に開設した英学校「耐恒寮」の跡地にあり、玄界灘を望む唐津城、その東西に広がる虹の松原など多くの自然や文化と歴史に包まれた唐津の地で、全国各地から集まった仲間たちが日々学校生活を謳歌しています。本校は早稲田大学の系属校ですので、大学が掲げる理念の一つである「世界で輝くWASEDA」を基に、確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダーの育成を教育目標に掲げています。早稲田大学創設者大隈重信の原点である九州・佐賀の地で「早稲田だからこそ学べるもの」「佐賀だから体験できること」を実施し、本校独自の「早稲田スピリット」が培われ、あらゆる場面で活躍できる人材を育てるべく質の高い教育を実現して参ります。



早稲田佐賀
中学校・高等学校 校長
迎 佳和



を掲げています。

「学問の独立」「進取の精神」「地球市民の育成」

創立以来、建学の精神として

グローバルリーダーの育成を目指す早稲田佐賀は、

確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えた

早稲田大学創設者 大隈重信の原点は九州・佐賀にあり

グローバル化が進展する21世紀において、日本人も地球社会の一員として国際的な舞台でのさまざまな役割と責任が期待されるようになりました。教育の分野においても、高度な専門的知識と幅広い教養を備え、自主的な判断ができる国際人の育成が不可欠となっています。そこで早稲田大学は、創設者・大隈重信の「人生125歳説」に基づき、創立125周年を迎えた2007年から新たな「第二の建学」に踏み出し、日本という枠を超えた「グローバルリーダー」の育成を目標に掲げました。大隈重信の生誕の地である佐賀県に、2010年4月「早稲田佐賀中学校・高等学校」を開校いたしました。

青年期の大隈重信は、キリスト教を伝えながら日本の若者たちに英語や西洋の学問を教えていたフルベッキという宣教師と長崎で出会い大きな影響を受けました。大隈はフルベッキの塾で、自由、人権、立憲制議会政治などを学び、その英学の知識を広めるために、長崎にフルベッキを校長先生として「致遠館」を開きました。致遠館には佐賀藩出身者だけでなく全国から多くの優秀な若者が集まり、あらゆる分野で日本を牽引する多くの人材を輩出しました。

早稲田佐賀中学校・高等学校には、大隈の幼名にちなんで八太郎館と名づけられた附設寮があります。この八太郎館には地元九州はもとより全国各地から、さまざまなバックグラウンド、多様な価値観をもった生徒が入寮し、お互いに刺激し合い切磋琢磨する中で豊かな人間性を形成しています。

現在、日本は、社会的にも経済的にも、大きな曲がり角にさしかかっています。さらに日本だけでなく、地球社会全体も温暖化・食糧問題・人口問題など、正解のないもしくは正解が一つではない多くの難問を抱えています。そうした中で、誰もが人間としての尊厳を保ちながら幸福に生きていける社会を作り上げていくという崇高な使命を果たすことができるのは、豊かな人間性と進取の精神を兼ね備えた若者たちをおいてほかにはありません。

早稲田大学は「世界でかやく大学」を標榜し、その実現に向け、学生諸君には、「たくましい知性」と「しなやかな感性」を身につけてほしいと伝えています。大学入試の問題には必ず答えがありますが、上述の通り、今後の日本や世界が直面する問題には正しい一つの答えがあるとは限りませんし、そもそも何が問題なのか分からない問題すらあります。そうした難しい問題に立ち向かうことができるのが、「たくましい知性」です。問題の解決に向けて自分なりの解決策を仮説として立て、その妥当性を考察して検証する。課題を見つけて、また考える。そのような姿勢を身につけてほしいと考えています。



早稲田大学 総長
田中 愛治

「しなやかな感性」とは、多様性を認めることといってもいいでしょう。早稲田大学では、性別、国籍、宗教や信条などに関係なく、誰もが平等に教え学んでいます。異なる価値観を持った人と交わる中で、多様性を考え、認めて受け入れてほしいと思います。

早稲田大学に進学するもの、医学の道に進むものなど多様な人材を早稲田佐賀中学校・高等学校から送り出して欲しいと思っています。「たくましい知性」と「しなやかな感性」はどのような道に進んでもこれからの時代に必要なのです。是非、そのベースとなるしっかりとした素地を唐津の地で作ってください。

それぞれの進学先で学生生活を経た後に、幅広い教養と深い学識、熱い情熱と冷静な判断力・批判力、そして何よりも温かい人間性を備えた素晴らしい地球市民として、世界の至る所で、また、経済、政治、マスコミ、学問、芸術、スポーツなど幅広い分野で、大いに活躍してくれるものと確信しています。



未来、そして世界を見ていた大隈重信

早稲田大学創設者である大隈重信は、明治の激動期に持ち前の先見性と構想力、そして実行力で日本の近代化を牽引しました。時代に新しい価値を生み出し続けたその志と信念は今に続いています。

現代の暮らしにつながる改革を次々と

総理大臣をはじめ数々の要職を務めた政治家であり、早稲田大学の創設者でもある大隈重信。実はそれだけでなく、現代の暮らしにつながるさまざまな功績を残しています。2020年には、東京都港区で日本初の鉄道遺構「高輪築堤」が発見されたことで、日本の鉄道開通に尽力した一人として再び注目を集めました。「陸蒸気（おかしょうき）を海に通せ」という大隈の英断があったからこそ、堤防を築いて線路を通すことができたのです。明治政府が貨幣制度の改革に乗り出した際には、その中心メンバーとなって「円」の誕生に大きく関与。近代日本経済の父と呼ばれた渋沢栄一を大蔵省の役人に導いたのも大隈でした。他にも、欧米の暦とあわせるために太陰暦から太陽暦に改暦し、明治41年にはアメリカ大リーグ選抜チームと早稲田大学野球部との試合で投手役を務め、日本初の始球式を行いました。

学問の独立で多様な人材を育成

新しい国づくりでは近代的な教育が必要だと考え、大隈は明治15年に早稲田大学の前身である東京専門学校を設立。「学問の独立」を謳い、政治家である自分の存在が学校経営に支障をきたさないよう、創立15周年の祝典まで公式行事には一切参加しませんでした。早稲田大学のみならず民間教育に力を注ぎ、同志社大学の設立では寄付金を出して協力し、日本女子大学の創立・経営を支援するなど女子教育にも熱心でした。政治家としての枠にとどまらず、さまざまな教育・文化事業に取り組むことで多様な人材を育てたのです。

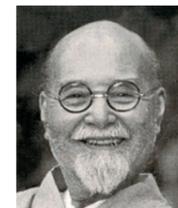
生誕地・佐賀で学ぶ誇りを胸に

明治政府の中核を担う人物の一人として、リーダーシップを発揮しつづけてきた大隈。青年期を過ごしたのは、日本の近代化をリードした幕末維新期の佐賀です。その頃から世界を見ており、公用語としての英語の重要性を認識し、藩に進言して英学塾を創設しています。早稲田大学の校風である「進取の精神」は、大隈の生き様そのものであり、現代に受け継がれる早稲田スピリットといえるでしょう。演説の名手としても知られる大隈は、若者に向けて数々のメッセージを残しています。東京専門学校の卒業式における演説の一説では、「所で此複雑な社会の大洋に於て航海の羅針盤は何であるか、学問だ」と述べています。学問を「航海の羅針盤」とすることで、失敗にくじけず人生に打ち勝ってほしいというメッセージは、今の私たちの心にも響きます。大隈重信の原点である九州・佐賀の地で学ぶ誇りを胸に、グローバルな視野を持つ人間力をここ早稲田佐賀で磨いていきましょう。



耐恒寮から時を超えて受け継がれる学びの絆

佐賀は早稲田大学の創設者大隈重信の生誕の地として知られていますが、九州・唐津と早稲田大学を結ぶもうひとつの物語があります。明治初年、唐津藩は新しい時代を担う人材を育成するため唐津城内に耐恒寮と呼ばれる唐津藩の英学校を開校。ここに英語教師として招かれたのが、アメリカでの困難を経て、やがて日銀総裁や内閣総理大臣を務めるなど、その波瀾万丈の人生と魅力あふれる人間性で今なお語り継がれる高橋是清です。そして、耐恒寮で学んだ生徒のひとりである早稲田大学第二代会長、天野為之です。天野は優れた経済学者であり、また教育者として創成期の早稲田大学の礎を築きました。天野はこの間に、早稲田実業学校を開校し校長も務めました。現在の早稲田佐賀中学校・高等学校の体育館の位置にあった耐恒寮からは、天野為之をはじめ、辰野金吾（建築家）や吉原政道（鉱業家）、掛下重次郎（大審院判事）など、後の日本をリードする若者たちが数多く巣立っていきました。玄界灘のやさしい潮風に吹かれながら、若者たちは昔も今もここで学び、夢を描き、そして世界へと大きく羽ばたいていきます。



たかほし これきよ
高橋 是清



あまの ためゆき
天野 為之

中学生

早い段階での基礎力習得。 応用力で次のステージへ。

中学校では基礎学力を重視し、その上で、思考力や応用力を育成します。総合的な学習の時間における地域学習や職業講演会等のキャリア教育も充実させています。また、道徳の時間を通して、豊かで思いやりのある心を育てるため、さまざまな資料を活用して心に響く授業を展開しています。

教育方針 自発的な学習と基本的な生活習慣の習得

1 主体的に学ぶ学習姿勢の習得

本校では、学習の基本である「自ら気づくこと」「興味関心をもつこと」「自主的な学習の習慣化」を大切に、それが誰にでも萌芽するよう、一人ひとりを導きます。

2 知・徳・体の完成

健全な心身で努力をし、大きく夢を抱くために、知・徳・体をバランス良く身につけていきます。そして豊かな人間性を持ち、健全な心身で努力し、夢を大きく抱ける生徒を育成します。

3 大学に直結する中高一貫教育の展開

一人ひとりの適性を正しく捉え、ハイレベルな授業を実施。早稲田大学のもつ学的・知的財産も活用しながらより高い学力の育成を目指します。

高校生

生徒同士が 互いに高め合える環境。

高校1年生では中学校からの入学生と高校からの入学生がお互いに高め合うことができる授業を展開。高校からの入学生には、本校のカリキュラムにスムーズに移行できるようバックアップを行っています。高校2年生では文系・理系に分かれ、進路実現に向けてより学習を深めていきます。進度を重視した授業によって、高校3年生より本格的に入試問題や大学での学びの基礎となる学問に対応した学習へとシフトします。

教育方針 たくましい知性としなやかな感性を育成

1 より高い学力と知的好奇心の育成

大学受験のための学力養成に偏らず、より深く、より広い知識や実力を養成します。現状に妥協することなく常に高みを目指して努力する生徒を育成します。

2 国際社会で活躍するリーダーの育成

英語力の強化はもちろん、地球的な視野と人間力の向上に取り組み、日本だけでなく、国際社会で貢献できるグローバルリーダーを育成します。

3 系属校の生徒としての資質の育成

卒業後、早稲田大学をはじめあらゆる場でそれぞれの専門分野を活かし、イニシアティブを取れる人材を育成します。また地球規模で活躍できる人材育成を目指します。

中1

1年間の指導を通じて、早稲田佐賀での生活に必要なルールとお互いを認め合う気持ちを学びます。学習面では、授業の受け方や家庭学習(寮学習)の習慣を身につけ、基礎学力の定着をはかります。

中2

日々の授業を大切にすることを再確認し、培った基礎学力を応用させる力を身につけます。授業や総合学習を通じて視野を広げ、自分と社会の関わりや自分の将来について考える姿勢を身につけます。

中3

中学校最上級生としての自覚を持ち、クラブや委員会活動、学校行事等でリーダーシップを発揮する立場を経験します。学習面では、一部の教科が高校内容に入り、大学入試を意識した授業になります。

高1

進路目標を明確化し、進路実現の素地をつくります。国語・英語・数学を中心に基礎的な学力を育成すると共に全ての教科や科目に対し、深い興味や関心をもてる授業を展開します。

高2

早稲田大学をはじめとする難関大学や医・歯・薬系大学進学に必要な幅広い学力と思考力を育成します。学部説明会や模擬講義など、さらなる進路意識を高めます。

高3

卒業後の進路目標実現を目指し、更なる学力養成のための演習授業や特別補習、外部講師を招いた講座等を行い進路希望を実現させます。

早稲田大学 推薦枠 最大148名

国立大学、私立大学、医・歯・薬系大学

基礎力養成期

応用力養成期

実践力充実期

グローバルリーダー育成に向けての取り組み

早稲田佐賀中学校・高等学校は生徒のグローバルな視点、文化理解、人間的成長を高めることを目的としており、相互接続された世界で成長するための貴重なスキルを育成するために役立つ、さまざまな留学プログラムを提供しています。

Study Programs

中学1・2年生

ネイティブスピーカーによる 英会話授業

英語学習の導入段階では、週1回のネイティブ教員による授業を通して、英語でのコミュニケーションの楽しさと難しさを実感し、英語学習意欲を高めるだけでなく、その後の英語学習の基盤となる音声的特徴を体系的に学習します。

中学生・高校生

希望制 海外研修旅行

夏季休業中に、希望者による1週間～10日間程度の研修を実施します。現地学校訪問や同世代との交流を深めることで、世界には様々な考え方や価値観があると改めて認識する事ができ、国際的な視野を身につけることが出来ます。

2025年度研修先(予定)

- オーストラリア・クイーンズランドホームステイ研修
- アメリカ・ボストン三大学研修
- シンガポール・マレーシア最先端技術研修

中学生・高校生

オンライン英会話(希望者)

グローバル化が進む世界の中で、社会文化的背景の異なる相手に、論理的に自分の意見を伝える力はますます求められています。本校では、スピーキング指導を効果的に行うために、オンライン上での外国人講師とのマンツーマンレッスンを受講する場を希望生徒に提供しています。

中学3年生・高校1年生

進級留学(希望者)

学校推薦型選抜試験を利用して早稲田大学の文系学部への進学を希望する場合、1年間の留学後に遅れることなく進級し、3年間で高等学校卒業を可能にする制度です。留学先は英語圏に限らず、各種留学斡旋機関を利用するなどして各自で決定します。海外では、自分の意見や意志をはっきり相手に伝えるのが基本です。自分が行きたい留学先を自分で考え、選ぶことで、自主性や積極性も育まれます。
※制度利用には条件があります。

高校1年生

ターム語学研修(希望者)

国際感覚を身に付けること、英語力の向上を目的としたオーストラリアへの研修制度です。滞在期間は高校1年生の3学期(1月中旬～3月下旬)で、教育水準の高い地域に点在する、5つの私立校のうちの1校に通学します。現地生徒と同じ学校生活を送るため、教科授業はもちろん、すべてのコミュニケーションを英語で行います。留学後は、遅れることなく高校2年生に進級することができます。今年度からは、ニュージーランドとカナダも留学先に加わる予定です。

高校2・3年生

アカデミックライティング

英語学習の最終段階においては、大学のレポートや研究論文など、学術的な文書を英語で書くため必要な表現やスキルを学びます。一人ひとりの書き手に対し、ネイティブ教員が添削とフィードバックを行います。書くことを通じて総合的な英語運用力を向上させることも狙いとしています。

※行事の内容は学年や年度により異なります。



世界が広がる一生ものの3ヶ月

留学先の学校では、現地の生徒と同じ授業、課題に不安でいっぱいでしたが、「Do your bestで良い」との先生方の優しいサポートで、無事にやり遂げることができました。日本の視点とは違う授業や、各国の生徒との交流で新しい価値観も学びました。また、休日にはホストファミリーと出かけ、学校外でも多くの思い出が作れました。拙い英語でも温かく接してくれたファミリーのおかげで、全くホームシックになることなく留学を満喫できました。常に英語に触れる環境にあったことで、留学前に比べて言葉の的確に聞き取れるようになっただけでなく、英作文においてもスムーズに自分の言いたい表現が出てくるようになり、英検準1級の合格も果たしました。約3ヶ月という短い期間でしたが、自分の世界が広がる最高の時間でした。

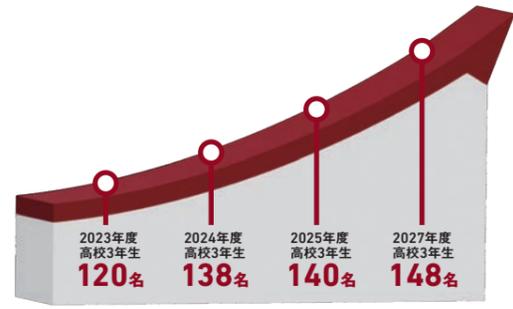
高校3年生
留学先: オーストラリア
留学期間: 2024年1月～3月



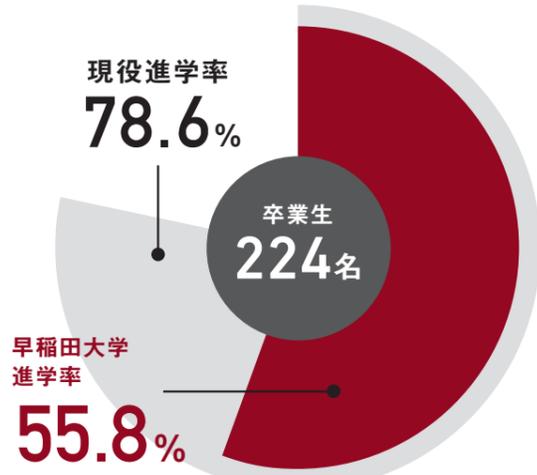
早稲田大学 学校推薦型選抜試験の推薦枠

148名

2025年度入学生より、最大148名の生徒が推薦条件を満たし、校内と大学の選考を経て早稲田大学へ進学することができます。



現役生の進学先



(卒業生224名中176名)

2024年度の卒業生の進学先

卒業生の約5割以上は、現役で早稲田大学へ進学しています。

現役大学進学 **176名**

学部	人数
政治経済学部	8名
法学部	10名
教育学部	10名
商学部	10名
社会科学部	10名
国際教養学部	9名
文化構想学部	10名
文学部	10名
基幹理工学部	11名
創造理工学部	8名
先進理工学部	6名
人間科学部	13名
スポーツ科学部	10名

早稲田大学以外の進学先

東京大学・九州大学・佐賀大学・鹿児島大学・奈良県立医科大学・慶應義塾大学
上智大学・国際基督教大学・青山学院大学・立教大学・法政大学・同志社大学
関西学院大学・立命館大学 等

大学入試合格状況

※国公立大、私立大、医学科合格状況は早稲田大学(推薦)の合格者を除いた生徒の実績です。

早稲田大学(推薦)

	2025	2024	2023
政治経済学部	8	8	7
法学部	10	7	6
教育学部	10	10	9
商学部	10	10	9
社会科学部	10	9	8
国際教養学部	9	10	7
文化構想学部	10	10	10
文学部	10	10	10
基幹理工学部	11	5	4
創造理工学部	8	5	1
先進理工学部	6	2	1
人間科学部	13	10	10
スポーツ科学部	10	10	10
計	125	106	92

国公立大学

	2025	2024	2023
九州大学	5(3)	4(1)	1
九州工業大学	1(1)	1(1)	1
福岡教育大学			2
佐賀大学	3	3(3)	2
長崎大学		2	
熊本大学		1(1)	2
大分大学			1
香川大学			1(1)
宮崎大学		1(1)	
鹿児島大学	1	2(1)	1
琉球大学			1
長崎県立大学			1
鳴門教育大学			1
香川大学			1(1)
北海道大学	2(2)		
弘前大学	1		
秋田大学	1		
茨城大学		1(1)	1
宇都宮大学			1
東京大学	1		1
東京外国語大学		1	
金沢大学	1		
神戸大学		1(1)	
岡山大学			1
高崎経済大学	1		1
横浜市立大学		1	
奈良県立医科大学	1		
下関市立大学			1(1)
防衛医科大学校			4
防衛大学校	1(1)	1(1)	1

私立大学(一部抜粋)

	2025	2024	2023
青山学院大学	7(1)	5(2)	6(2)
慶應義塾大学	4(3)	2(2)	5(4)
国際基督教大学	1	2	1
上智大学	4(1)	4(2)	2(1)
中央大学	2(1)	12(8)	4
東京理科大学	5(3)	3	5
法政大学	5(2)	10(7)	3(2)
明治大学	3(3)	3	9(2)
立教大学	5	5	6
早稲田大学(一般)	1(1)	5(2)	11(4)
同志社大学	8(4)	6(4)	2(1)
立命館大学	11(7)	8(5)	19(14)
関西大学		3(2)	7(2)
関西学院大学	6(3)	7(3)	5(2)
西南学院大学	3	5	15(6)
福岡大学	25(10)	32(15)	29(12)

※()は、内数で過年度生

医学科(左記国公立大合格者の内数)

	2025	2024	2023
九州大学			1
佐賀大学		1(1)	1
長崎大学		2	
熊本大学			1
大分大学			1
宮崎大学		1(1)	
香川大学			1(1)
横浜市立大学			
奈良県立医科大学	1		
岩手医科大学	1(1)		1(1)
国際医療福祉大学			1
杏林大学			1(1)
愛知医科大学	1(1)	1(1)	1(1)
藤田医科大学	1(1)		1(1)
金沢医科大学	1(1)		
近畿大学			1(1)
川崎医科大学	1		1(1)
久留米大学	2(2)	1	
福岡大学		3(2)	1(1)
防衛医科大学校			3

※()は、内数で過年度生

海外大学

University of California, Berkeley(アメリカ)
University of California, San Diego(アメリカ)
New York University(アメリカ)
Georgia Institute of Technology(アメリカ)
The University of Illinois at Urbana-Champaign(アメリカ)
The one academy(マレーシア)

	2025	2024	2023
卒業生数	224	202	215
早稲田大学推薦者数	125	106	92
一般受験生数	99	96	123



Waseda Saga Medical WorkShop

本校では2018年度から医学部・薬学部・歯学部など医療系を目指す生徒を対象としたWaseda Saga Medical WorkShopを開催し、机上では得られない学びの機会を広げ、現場で働く人々の声を聞き、医療現場に身を置く責任や心構え、厳しさを体感することで、人間の命に向き合う覚悟を持ってもらいたいとの願いのもとワークショップを開催しています。



学問を知り、将来を考える 大学模擬講義

自分の個性・能力・適性に合致する職業と、その道となり得る大学を選定する能力を育成することを目的とし、大学で学ぶテーマに触れることで知的好奇心を喚起し、職業意識や専門性などの意識啓発を行うための「大学模擬講義」を実施しています。早稲田大学だけでなく、さまざまな大学の先生方を本校に招聘し、大学で学ぶテーマに触れることでしっかりとした進路目的を確立させていきます。



ニュージーランド国立大学初! オタゴ大学への 指定校推薦入試制度を導入

ニュージーランドの国立大学としては初の試みで、対象となる国内高校の3校のうち早稲田佐賀高等学校が選ばれました。本制度は、単なる海外進出ではなく、オタゴ大学で学士号を取得することを目的としたプログラムです。1年目は英語と大学学習の基礎を習得し、2年目から4年目で専門分野の学士号取得を目指します。2025年4月からこの制度が導入され、グローバルな舞台で学びを深めたい生徒の進路選択の幅が広がりました。



「明日への扉」講演会

中高大連携事業 高1

文理選択を目前にしている高校1年生を対象に、進路選択の意識高揚を目的とした講演会を実施しています。多くの分野で活躍される方を講師として招いています。



早稲田大学学部説明会

中高大連携事業 高1・2

早稲田大学全13学部の教授などが来校し、大学での学びや、その先の進路について本校の教室で話を聞くことができます。



系属校高校生 特別聴講制度

中高大連携事業 高2・3

早稲田大学では、高校生の学問への関心や進路決定の手助けとなるように、大学の正規授業を開放する「高校生特別聴講制度」を設けています。この制度を活用することによって、知識を習得できるだけでなく、早稲田大学に入学後、入学学部の履修基準にしたがって単位認定されます。

Message From Student Presidents



早稲田佐賀のカリキュラムが
育む生徒の主体性

私がこの早稲田佐賀中学校に入塾して驚いたことは、生徒が主体的に動く場がたくさんあるということです。例えば、昼休みや放課後に行われるワセクエでは自分の興味関心のある分野の講座を、自ら選び学びを深めることができます。また、修学旅行の行き先の決め方もユニークです。修学旅行の行程を生徒が立案し、クラス内コンペ、学年コンペを経て選ばれたものが、次年度の行き先になります。毎年進化を重ねる体育祭、文化祭などでも、自分たちで企画し、話し合い、試行錯誤しながら取り組むことができます。自分たちで主体的に活動できる場がある早稲田佐賀でみなさんも学んでみませんか？私たちも皆さんのご入学をお待ちしています。

中学3年生 生徒会長
出身地：東京都



仲間と共に新境地を開拓する

早稲田佐賀高等学校は多くの文化や豊かな自然に囲まれ、日本だけでなく世界で活躍できる人材として成長できる環境があります。全国各地から集まった志のある仲間達と切磋琢磨し合うことで、自分の夢を叶える為に必要な力を養うことができます。勉強面では、本校の先生方の素晴らしい授業やサポートにより、どんな進路実現も可能です。もし進路に悩んだとしても、経験豊富な先生方のアドバイスによって、新たな視点や解決策を見つけることができます。勉強だけでなく、部活動も盛んです。多くの部が数多くの大会で素晴らしい成績を残しています。体育祭や文化祭などの学校行事では、学年の垣根を越えて一致団結し、絆を深めることで、学校行事を最高の思い出にすることができます。新入生の皆さん、ここ早稲田佐賀でいっしょに未来を切り拓きましょう。

高校3年生 生徒会長
出身地：茨城県



制服デザインの特徴は、早稲田の伝統である男子の詰襟。それにマッチした、女子のプリンセスラインという立体的なノーカラージャケット。シャツはドライタッチ、白でも透けない糸を使用しています。高校生の左胸の校名と刺繍とボタンホールはWASEDAカラーの臙脂、中学生は唐津の空と海を象徴するサックスブルーです。アウターはファインウール高混率で、しなやかさと軽量化を実現しながらも強度が高く、快適な着心地です。



中学校



高等学校

Our Uniform

中学校教科別教育目標

国語

魅力的な人になるために

読書の習慣は当然ですが、幅広いジャンルの書籍を選ぶように指導します。その上でプレゼンテーションの方法を考え、実践させます。自分の意見を持ち、それを正しい言葉で伝える力も大切ですが、他者の言葉を「聴く力」を身につけることがもっと大切です。長い文章を書くことや、短歌・俳句の創作までしっかり指導します。また、日本の文化に誇りを持ち、伝統を感じるために古典の世界も早い段階から指導します。

数学

知的好奇心を揺さぶる授業展開で深い思考力を養成

中学校では数学を「代数分野」「幾何分野」に分けて授業を行います。いずれの分野も特に中学1・2年生の低学年時には十分に時間をかけて、じっくりと課題と向き合い、徹底して基礎力の定着を図ります。また、ノートの使い方や、予習・復習の仕方なども丁寧に指導し、学習に取り組む姿勢を学びます。中学3年生より高校課程への学習に入ります。知的好奇心を揺さぶる授業を展開し、単に公式の暗記などにとどまらない、深い思考力や豊かな表現力を養います。また自学自習の習慣を確立し、全員が取りこぼなく、確かな基礎力を身につけることができるよう、徹底した指導を行います。

理科

潤沢な実験と観察で大学での研究の基礎を早期習得

教科書の内容を中心に、高校理科の基礎知識も取り入れた授業を行っています。また、物理・化学領域を1分野、生物・地学領域を2分野と分けて、より専門性のある授業を行っています。そのため、高校の授業では実践的かつ高度な学習にスムーズに入ることができます。理科として重要な考察力は、実験や観察の授業を潤沢に実施し、結果をもとに自らの答えを導き出すよう指導しています。これらを通じて、生徒一人ひとりの理科への興味と関心を深め、大学での研究の基礎が身につくように学習を進めています。

英語

英語4技能「読む・聴く・書く・話す」のバランスのとれた育成

中学校の英語では、大学での学問研究やその先の国際社会で通用するような、論理的で正確な英語力の土台作りをすることを目指しています。そのために、「読む・聴く・書く・話す」の4技能をバランスよく学習します。授業ではいずれの学年においても音読活動を重視すると同時に、ネイティブ教員による授業やオンライン英会話でマンツーマンレッスンを受ける時間を設け、生徒が英語を実際に使いながら学びを深めていきます。さらに、文化祭や希望する海外研修などの学校行事を通じて、生徒が英語をことばとして使う場面を多く設定しています。

社会

国際社会で活躍する資質の基礎を培いながら「人間力」を高める授業

中学校社会科の授業では、広い視野に立って、社会に対する関心を高め、さまざまな資料に基づいて多面的・多角的に考察する力の育成を目指します。また、これからのグローバル社会で活躍する人材として、必要な判断力や意思決定力などの資質の基礎を培っていきます。そのために、生徒に対して常に「なぜ」という問いかけを行い、さまざまな社会的現象の因果関係を考えさせるようにしています。また、ビジュアル教材や資料の活用によって生徒の興味を喚起し、グループ討論や発表の機会を多くすることで、主体性やコミュニケーション力を高める取り組みをしています。グローバル社会で活躍する人材の育成を目標に、単なる学力ではない「人間力」を高める授業を目指しています。



高等学校教科別教育目標

国語

未来を豊かな心で歩むために

昨今のネット社会の広がりで、相手を想って心を込めた手紙をしたため、受け取るという機会が少なくなりました。言葉は時代と共に変化するものですが、伝統の中で生き続けてきた日本語で、論理的に考え表現する力を身につけます。またあらゆる文章を鑑賞する力も必須です。日々の授業は現代文、古典を深く学びますが、難関大学の受験を志す生徒にはその対策を併せて指導します。検索すれば直ぐにヒントや答えが目の前に映し出される現代ですが、本校ではプロセスを大切に言葉を書くことに重点を置いた指導を行います。

数学

徹底した演習で数学的思考力の増強を図る

どの授業も教科書の内容だけでなくプリントやICT教材等を使用し、数学に対する興味・関心が湧き、数学的思考力が身につくように工夫しています。また、教科書内容が終わり次第、入試問題を扱った演習を徹底的に行い、受験に耐える実力を養成していきます。高校3年生になると、問題演習だけでなく、志望校にあわせた添削指導を通じて更なる実力伸長を図ります。また、早稲田大学希望者の文系の生徒は、早稲田大学への進学を見据えて、数学Ⅲを学びます。

理科

キャリア意識の形成と論理的思考を養う

高等教育との接続を考慮し、キャリア意識の形成に役立つ授業を目指しています。実験では基本実験操作を身につけると共に、実験計画とデータ解析を通じて論理的思考力を養います。また、科学と実社会の関連を知るため、学習内容の身の回りでの応用例の紹介も積極的にを行います。受験対策では、各分野の核心を突く演習を通じて実践力を養成しています。研究志向の生徒には、サイエンス部での研究活動や、各種コンテストへの参加を奨励しています。

英語

入試から国際社会まで通用する論理的な英語力の養成

大学での学問研究やその先の国際社会で通用するような、論理的で正確な英語力を育成することを目指しています。語彙・文法・構文理解の指導を徹底して行い、高校2年生までに共通テストに対応できる力を、高校3年生では難関大学入試に対応できる力を育成します。通常の授業に加えて、選択制の補習授業や個別添削指導、希望制のオンライン英会話などを通して、生徒一人ひとりの英語力に応じたサポートを提供します。さらにTOEFL-ITP等、各種英語検定の受験などを通じて客観的に英語力の伸長を図り、国際社会で活躍できる人材の基礎作りを目指します。

地理歴史・公民

知識を知恵に変える力を養い未来に生きる力を育む

地歴・公民科の授業で大切にしていることは、生徒一人ひとりが「考えながら」授業を聞くことです。そのために、積極的な発言を促す発問、プロジェクターを活用し視覚に訴えるなど、生徒の学ぶ意欲を引き出す工夫を凝らしています。「考えながら」授業を受けることで、なぜ・どうしてその事象が起こったのかという分析力、自分自身の意見を他の生徒にも正確に伝える表現力などを養います。このような授業を通して、知識(学問の内容)を知恵(社会で生きる力)へと変えていきます。君たちが生きる社会ではこの知恵が重要視されます。

DXハイスクール

「DXハイスクール」は、文部科学省が推進する「高等学校DX加速化推進事業」の通称で、高校段階におけるデジタル分野の人材育成強化を目的とした事業です。ICTを活用した探究的な学びや、情報・数学などの教育を重視するカリキュラムの実施に必要な環境整備の経費が支援されます。本校は令和7年度高等学校等デジタル人材育成支援事業補助金(高等学校DX加速化推進事業)に選ばれました。

1日の流れ

朝の時間	9:00 ~ 9:10
朝HR	9:10 ~ 9:15
1	9:20 ~ 10:05
2	10:15 ~ 11:00
3	11:10 ~ 11:55
4	12:05 ~ 12:50
昼休み	12:50 ~ 13:35
5	13:35 ~ 14:20
6	14:30 ~ 15:15
(7)	15:25 ~ 16:10
帰HR	16:15 ~ 16:20
清掃	16:20 ~ 16:30

※2025年度の時刻です
(2026年度は変更になる可能性があります)

教育課程について詳しい情報はこちら



中学校



高等学校

Think Locally Act Globally - 早稲田佐賀から世界へ -

未来を拓く力を身につける 探究学習

様々な経験を通して、生徒たちは地球規模の問題について深く考え、自分たちの行動が世界に貢献できることを学びます。探究学習を通じて、自分の興味を追究することで学ぶ楽しさを知り、ポスターセッション、製作CM発表会、プレゼン大会、卒業研究発表会などの機会を通して、自分の考えを他者に伝えるスキルを磨きます。自ら学び、自ら未来を切り拓く力を身につけることを目指します。

中学1年生

「唐津・佐賀で学ぶ」をテーマに、地域の歴史と自然を体感し、地元の文化や環境を深く理解します。

大隈重信ゆかりの地探訪

佐賀市内にある大隈重信生家や大隈重信記念館、大隈重信のお墓がある龍泰寺などを訪ね、早稲田大学の歴史や創設への想いを学びます。この研修を通して、早稲田の一員としての自覚を高めます。



唐津フィールドワーク

中学1年生は、唐津を舞台としたフィールドワークを実施しており、グループごとに「歴史」「インバウンド」「バリアフリー」「町おこし」といったテーマを設定し、1日をかけて主体的な探究活動に取り組みます。史跡名勝の実地調査や、地域の方々へのインタビュー調査を通じて、唐津の歴史や文化、現状を肌で感じることが出来ます。



唐津体験プログラム

マリンスポーツ、溪流釣り、波止場釣り、魚さばき、地引網体験、佐賀牛マイバーガー作り、唐津の名物であるイカの活造りを実際に味わうことが出来る体験など、本校では唐津の魅力存分に体感できるプログラムを用意しています。



佐賀大自然プログラム

中学校生活の幕開けを飾る、最初の冒険。全国各地から集った新しい仲間たちと共に、佐賀の雄大な自然を舞台に、学びと交流を深める特別な時間。緑豊かな大地を歩き、仲間と心をつなげて船を漕ぎ出す。夜には、地元食材を囲んでの笑顔あふれるバーベキュー。まだ見ぬクラスメイトとの距離が、この3日間を通して、かけがえのない友情へと変わるでしょう。



中学2年生

「九州で学ぶ」をテーマに、地域課題の発見と解決に向けた探究を深めます。前期は、地域が抱える課題を具体的に探り、他地域の課題解決に向けた取り組みを学びます。

干潟体験

日本三大稲荷の一つである祐徳稲荷神社を参拝し、その後、有明海にて干潟体験を行います。「ミニガタリンピック」を体験でき、生徒たちは長板に乗って干潟の上を滑る「湯スキー」、クラス対抗の「湯上網引き」、そして最後に個人戦の「湯フライ競争」を楽しむ事ができます。



研修旅行

地方創生の先進事例を肌で学び、その学びの経験を今後の課題に活かすことを目的に1泊2日の研修旅行を行います。取り組みによってどのように地方が変わり、今、どんな課題を抱えているのかを肌で感じることで、地域社会の課題に目を向け、グローバルな視点をもって行動できる人材へ育成をします。



中学3年生

「日本で学ぶ」をテーマに、2年間の探究学習の集大成として、興味をもつテーマについて深く探究し、卒業研究に取り組みます。

卒業研究発表会

中学1・2年で培った学びを基に、生徒全員が卒業研究に挑みます。興味ある課題を自ら探究し、知的好奇心を満たしながら学ぶ楽しさを体感。一つの課題に長期間取り組めるのが、中高一貫校ならではの大きなポイントです。



先取り実験実習

中高大連携事業

早稲田大学と連携し、早稲田大学理工学術院のエンジニアによる、科学的な意欲・関心を高める取り組みを行っています。



生徒がつくりあげる修学旅行

中学2年次に生徒たちは、設定された条件下で修学旅行の行程案を作成し、クラス内でコンペを実施。クラス内で選ばれた企画は学年コンペへ進み、勝ち残った企画が中学3年生の修学旅行となります。異文化体験をすることで日本と違う文化や常識に触れ、違いを認識できるようになり、人間的にも大きく成長できます。



中学1・2・3年生

フロンティアセミナーin WASEDA SAGA

職業講演会を実施して、様々な職種への理解を深めます。特に保護者による講話には、多数の方のご協力を得ています。また、生徒の職業理解のために外部講師として大勢の専門家を招いて、指導を受けています。



学びの楽しさを体感する「ワセクエ」

ワセクエとは「学びの楽しさ」を体感する早稲田佐賀の探究活動のこと。

小隈塾（リーダーシップ講座）、早稲田佐賀公式お土産プロジェクト、

ようこそ先輩（卒業生との座談会）、英語で学ぶ教養講座、わくわく実験教室など、

昼休みや放課後に年間100前後の講座が開催されます。

ワセクエを通じて、学びの楽しさを体験すると同時に、世界が抱える社会問題に気づき、

社会問題を主体的に解決するために、考動する人財の育成を目指します。

※実施の一例です。



通学バッグ改善プロジェクト



落語



サスティナ部



陶芸



早稲田佐賀公式おみやげ
開発プロジェクト



エネルギーを考える



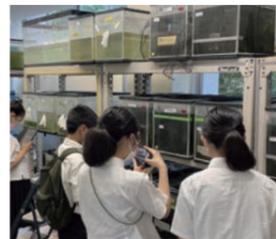
アントレナーシップ講座



大相撲



オリジナルアイス開発
プロジェクト



蝶



裁判



将来のキャリアについて考える



クイズプロジェクト



勉強方法講座



パソコン



リーダーシッププログラム小隈塾

高校総合学習の成果

起業家教育プロジェクト

このプロジェクトでは第一線で活躍する起業家講師、ファンリテーターが「仕事の意味」や「働くことの意義」を考えさせ、在りたい自分を見つけるキャリア教育講演会を実施しました。後期に「地域、日本、世界の抱える問題発見、解決に貢献する」をテーマに、共感するメンバーと具体策（ビジネスプラン）を出し合うグループ研究を行いました。ビジネスプラン発表会も生徒の主体的な運営で実施しました。



第8回佐賀さいこう！ 企画甲子園

佐賀の素晴らしいことを伝える高校生の「佐賀さいこう！企画甲子園」に本校からは2グループが決勝大会に出場しました。決勝大会に同じ学校から2つのグループが進むのは初めてです。唐津の古酒蔵や離島の活性化案でプレゼンを行いました。審査員からは実現可能性や表現力について高い評価を得ました。



第12回高校生 ビジネスプラン・グランプリ

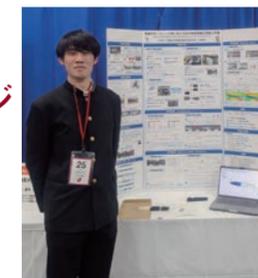
高校2年生のチーム「OctPASS」が「視覚障害者と聴覚者をGENNECTするボタン「GENNECTION」というビジネスプランで参加し、参加校536校・プラン数5,151件の中から見事ビジネスプランベスト100に入賞しました。ビジネスプランの作成を通じて、ビジネスの知見を深め、自ら学び、考え、課題を見つける力、課題を解決するための論理的な思考力、他者と協働しながら課題を解決する力を養いました。本校は学校での取り組みが評価され「学校賞」も受賞しました。佐賀県として初受賞、チームと学校のダブル受賞は、全国で本校だけです。



JSEC 第22回 高校生・高専生 科学技術チャレンジ

【テーマ】
受動的モーフィング翼
における変形制御機構の
提案と評価

【結果】
審査委員奨励賞



私は高校1年生の時に受動的モーフィング翼に出会ったことで、空気の流れで翼の形が変わるという斬新さに感銘を受けました。そして、より幅広い飛行条件下で応用できるように変形を制御する機構を導入したいと考えようになりました。自宅では理論的な研究を行い、荷重試験は学校の物理室で行い、風洞試験は東京大学の研究室で行いました。受動的モーフィング翼に変形制御機構を導入するのは新しい試みだったので、参考にできる先行研究も少なかった事で苦労しました。理論的なモデルから翼の変形量を小さくする方法を考え、荷重・風洞試験を通して、翼の変形量を定量的に解析した結果、リンクを用いた制御機構を構築することができました。

早稲田大学附属校系属校 ビジネスプラン・コンテスト

「自ら社会の課題を設定し、その解決方法をオリジナリティ溢れるビジネスプラン（アイデア）で解決する（実現する）力を醸成すること」を目的としたコンテストにも積極的に参加。附属校・系属校同士で切磋琢磨しています。



唯一無二の学校生活

入学当初は、慣れない唐津での学校生活や長い通学時間に不安でいっぱいでした。しかし、実際に学校が始まると、唐津の美しい自然やさまざまな地域から集まった個性豊かな友人たちとの楽しい日々の中で、不安はいつの間にか消えていきました。心配していた福岡からの長い通学時間も、友達との会話や課題に取り組む時間、電車の窓からみえる景色を楽しむ時間となり、今では大切な学校生活の一部です。この学校の一番の魅力は、多様な考えを持つ人々と交流できることだと思います。全国各地から集まる仲間と過ごす中で、異なる価値観に触れる機会が多く、日々新たな発見があります。授業や休憩時間の何気ない会話の中でも、異なる視点に気づかされ、視野が広がるのを実感しています。早稲田佐賀での生活はとても充実していて、日々新しい学びや刺激にあふれ、貴重な時間を過ごすことができます。これからもここで得た経験を大切にしながら、自分の夢に向かって歩んでいきたいです。

中学3年生(福岡県出身)



文武両道と人間関係を育む 早稲田佐賀中学校

早稲田佐賀中学校の魅力の一つは、全国各地から生徒が集まり、多様な価値観をもつ仲間たちと共に学び、学校生活を送ることができる点です。九州だけでなく、関東、関西、さらには海外からも生徒が集まり、かつ自然豊かな環境で充実した学びができます。部活動やサークルを通じて、同級生との横のつながりだけでなく、先輩や後輩との縦のつながりも大切にしています。私は現在、寮生活をしており、同級生や先輩、後輩と多くの時間を共に過ごしています。休日に遊びに行ったり、先輩に学習の質問をしたりするなど、充実した毎日を送っています。学習面では、先生方が質問に対して、理解できるまで何度でも丁寧に教えてくれます。また、私たちの主体性を尊重してくださり、文化祭の出店決めや修学旅行の行き先選びなど、生徒主体で決めることができます。早稲田佐賀は文武両道を実現し、広い人間関係を築くことができる場所です。

中学3年生(東京都出身)

仲間と共にグローバルな視野を広げる

私は中国で生まれ育ちました。早稲田佐賀は国内外から集まった仲間たちと共に学校生活と寮生活の両方を楽しむことができるため進学することを決めました。中国からの帰国生として高校から入学しましたが、他の多くの生徒も遠方からの入学だったので、とても安心して新しい環境に飛び込むことができました。現在では、似た境遇の仲間たちと切磋琢磨し、これまでにないほど充実した日々を送っています。さらに、早稲田佐賀では起業家教育プロジェクトが実施されています。私はこのプロジェクトに全力で取り組んでおり、その経験を通じて大学生になった際には起業を目指そうと考えるようになりました。このように、早稲田佐賀では多様な視点を育む教育が行われており、グローバルな視野を広げるには最適な環境だと感じています。多くのチャンスに溢れたこの学校生活の中で、国際社会で活躍できるリーダーを目指し、今後も日々努力を重ねていきたいと思っています。

高校2年生(中国蘇州市出身)



ここにしかない青春

私が早稲田佐賀に入学した当初は、全国各地から集まった仲間たちや地元から離れた慣れない環境に不安がいっぱいでした。しかし、そんな不安が吹き飛んでしまうくらいここ早稲田佐賀での生活は魅力的です。生徒の半数以上が暮らしている寮では、周りの友達に触発されて学習への意欲が高まったり、友達同士で教え合いをすることでより理解を深めたりなど寮ならではの勉強をすることができます。また、学校には社会に貢献する活動をされている方々が講演にきてくださるため、たくさんの刺激を受けられます。学生生活の醍醐味である学校行事では、早稲田大学系属校ならではの経験を受けることができます。東京研修では、大学の授業を実際に受けられたり、早稲田佐賀を卒業した先輩方から話を聞いたりすることができるため、高校生のうちから大学を見据えた生活を送ることができます。大隈重信100年ハイクでは全員が全力でバカになって一生の思い出を作ることができました。これからもこの学校でしかできない青春を楽しんでいきたいです。

高校2年生(長崎県出身)

Message From Graduates

早稲田佐賀だからこそその充実した学校生活

私は早稲田佐賀で高校生活を送ることができて本当に良かったと思っています。入学当初、さまざまなバックグラウンドを持つ人たちとうまくやっていた不安でしたが、今振り返ると自分の視野が広がる良い刺激をたくさん受け、成長できたと感じています。そして、みんなの高い志や能力が、あらゆる場面で私のモチベーションになっていました。また、素晴らしい先生方に恵まれ、部活動でテニスが続けながら勉強にも励むことができました。体育祭や文化祭、100年ハイクなどの行事では、生徒も先生方も全力で楽しんでいたことが印象に残っています。さらに、学校内から見える唐津城や海、自然豊かな景色が素敵など早稲田佐賀の魅力の一つだと思います。最後に、早稲田佐賀には自分次第で可能性を広げられる環境が整っています。ぜひその環境を活かして充実した学校生活を送ってください。



早稲田大学法学部
古賀 倫子さん
(2024年度卒業)
[高校入学生]

多くの人に支えられた6年間

私は早稲田佐賀で弓道部の練習に励みながら、奈良県立医科大学の医学部合格に向けて日々勉強を続けてきました。部活動と受験勉強を両立するのは大変なこともたくさんありました。しかし、早稲田佐賀には共に頑張ってくれる仲間がたくさんいました。受験勉強は辛く、何度も心が折れてしまいましたが、しかしそんなときは教室に残っている仲間を見て自分を奮い立たせてくれました。部活の仲間は卒部後も、落ち込む度に私を励ましてくれました。本当に弓道部のことは家族のように思っています。また、先生方にもたくさんお世話になりました。私は塾に通っていなかったで受験勉強は共通テスト対策から個別試験、面接の指導まで全て早稲田佐賀の先生にいただきました。担当教科の先生と何度も何度も面談を繰り返して、自分に合った勉強法を見つけました。担任の先生は教科の指導だけでなく、メンタルケアなどもしてくださいました。素敵な人たちに会えて本当に良かったです。



奈良県立医科大学
医学部医学科
田中 さくらさん
(2024年度卒業)
[中学校入学生]

大きな夢を追いかける学校

私は2019年に中学10期生として入学しました。突然ですが、皆さん夢はありますか？私は幼い頃から飛行機が好きで、飛行機が引き起こす環境問題を解決したいという夢がありました。私はそんな夢を叶えるべく、高校時代は研究活動などの様々な活動に取り組みました。とはいえ、最初は思うようにいかず、諦めかけたことが何度もありました。そんなとき、自分の志を叶えようと努力を続ける同級生の姿や、親身になって支えてくれる先生方の存在が大きな励みになりました。そのおかげで、物理オリンピックや全国規模の研究コンテストで入賞(詳細はP16)することができ、希望する進路にも進むことができました。早稲田佐賀で素敵な仲間・先生方と出会い、自分の可能性を信じて挑戦を続け、唐津の地から大きな夢を追いかけてみてはいかがでしょうか。



東京大学教養学部理科一類
(工学部航空宇宙工学科進学予定)
土田 剛慎さん
(2024年度卒業)
[中学校入学生]

多様な価値観を共有できる土壌がある

早稲田佐賀の特徴は多様な価値観を共有できる土壌があることだと思います。早稲田佐賀には関東や国外からも学生が集まりますが、九州出身の私にとって、彼らと勉強や寝食をともにする生活は想像以上に異文化交流の機会でした。さまざまなバックグラウンドが共存することで衝突する機会も少なからずありましたが、当時を振り返ると高校生の段階から異なる価値観に触れ、理解を深める機会は一般的な学校では経験できない非常に貴重なものだったと感じています。大学・大学院では研究、社会人の今はロケット開発に従事していますが、取り組む課題や社会への影響が大きくなればなるほど、携わるプロジェクトのメンバー数は多くなります。さまざまな立場から多くの意見が出ますが、まずは拒まず受け入れることで、協調しながらプロジェクトをハンドリングできるように心がけており、当時の早稲田佐賀での経験が今に活かしていると感じています。



早稲田大学大学院 基幹理工学研究科
機械科学専攻卒業
宇宙航空研究開発機構(JAXA)
中島 曜さん
(2012年度卒業※1期生)
[高校入学生]

Club Activities

中学校

運動部

- 野球部(軟式)
- 競走部
- サッカー部
- バスケットボール部(男子)
- 剣道部
- 応援部(チアリーディング)
- 弓道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 書道部
- 放送部
- サイエンス部
- 写真部
- ESS部



Junior High School

サークル(同好会・研究会)の創設について

学校既定の条件を満たせば「集まりたいときに集まって、やりたいことを気軽に楽しくやる」をコンセプトに、生徒たちの自主的かつ充実した活動を実施する事が出来る。

2025年度サークル一覧

- リフレイン
 - ・楽器を用いて演奏、作曲、アレンジ
 - ・文化祭の有志企画への参加
- 茶道サークル
 - ・茶道を通して、日本の伝統文化と共に、礼儀作法を身に磨ける
 - ・おもてなしの心を育む
- 広報サークル
 - ・学校広報のサポート・学校行事の動画制作
- サスティナ部
 - ・「楽しみながらSDGs」をテーマに活動
- 勉強サークル
 - ・志望校合格、自己のレベルアップに向けて勉強に打ち込む

Senior High School



高等学校

運動部

- 野球部(硬式)
- 競走部
- テニス部
- サッカー部
- バスケットボール部
- ラグビー部
- 剣道部
- 応援部(チアリーディング)
- 弓道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 書道部
- 放送部
- サイエンス部
- 写真部
- ESS部

サスティナ部(サークル活動)

大学や企業、行政と連携し地域の中で「楽しみながら地球にいいこと」に挑戦するサークル活動が発足しました。2024年度はビーチクリーン活動やアップサイクル活動を通して校外とつながり、佐賀・唐津の良さを知り、様々な場面で発信しました。2025年度は連携先も増え、定期的な海洋ゴミプロファイリングや食害魚を使った商品開発をはじめ、生徒たちが「やりたい」ことにどんどん挑戦します!



海辺の教室 in 佐賀・唐津
早稲田佐賀高等学校サスティナ部 × 九州大学うみつなぎキックオフビーチクリーンの様子



本気になれる 早稲田佐賀の青春。

早稲田佐賀には数多くの行事があります。学習や将来の目標をより明確にできるだけでなく、生徒同士が協力し合い親交も深めることができます。

- 1学期始業式
- 入学式
- 体育祭
- 新入生研修 **高1**
- 佐賀大自然プログラム(新入生宿泊研修) **中1**
- 唐津フィールドワーク **中1**
- 佐賀県高校総体 **高1・2・3**
- 第1回定期考査
- 2学期始業式
- 文化祭
- 大隈記念講演会
- 東京研修 **高1**
- 大学模擬講義 **高1・2**
- 修学旅行 **中3**
- 唐津体験プログラム **中1**
- 修学旅行 **高2**
- 三者面談(希望者)
- 2学期終業式
- 探究発表会 **中1・2・3**
- 第4回定期考査
- 卒業式
- クラスマッチ **高1・2**

1 学期 4月 5月 6月 7月 8月 9月 2 学期 10月 11月 12月 1 3 学期 1月 2月 3月

- 後援会総会
- 授業参観
- 大隈重信ゆかりの地探訪 **中1**
- 大隈重信ゆかりの地探訪/北九州研修 **高1**
- 中体連 **中1・2・3**
- 海外研修旅行(希望者) **中1・2・3** **高1・2・3**
- 早稲田大学 学部説明会 **高1・2**
- 三者面談・1学期終業式
- 第2回定期考査
- 干潟体験 **中2**
- フロントアセミナー **中1・2・3**
- 第3回定期考査
- 唐津くんち清掃ボランティア **中1・2・3**
- 3学期始業式
- 大学入学共通テスト **高3**
- タム語学研修(希望者) **高1**
- クリーンアップin虹の松原 **中1・2・3** **高1・2**
- 3学期終業式
- 大隈重信100年ハイク **高1**
- 民泊体験(希望者) **中1・2・3**

※上記は例年のもので、2026年度は変更になる場合があります。※ワセクエ(唐津の大自然を体験プログラム等)は希望制で適宜実施しています。





はち た ろ う

附設寮八太郎館

「八太郎館」は、大隈重信の幼名「八太郎」にちなんで名付けられました。本校は学校と寮は一体であるべきと捉えて運営をしており、開校と同時に八太郎館も開寮しました。

16年目を迎え寮生も中高合わせて740名を超え、さまざまな運営の工夫を図っています。

わずか12歳・15歳で寮生活を決意する寮生たちに対して、一人ひとりが健全で明朗に成長し、更に効率よく学力が伸びていくよう、全スタッフ、全教員の目と心で対応していきます。

本寮で成長した寮生たちが、将来我が国をリードし、世界で活躍できる人材になることを願っています。

万全なセキュリティ対策で、「安全」を約束します。

定員が約900名の八太郎館は、中学生、高校生が非常に広い空間の中で生活しています。そのため、夜間はガードマン2名体制で警備しています。また、生活時間帯は男性、女性の寮主任教員も寮内巡回をし、寮生たちの様子を観察・指導しています。さらに、男性2名、女性1名の教員が宿泊し、緊急の事態に対応できるようにしています。何より寮長・寮母とスタッフは、常に明るく優しく愛情を持って寮生とのコミュニケーションを図るなど、寮生の生活をサポート。急病時にはスタッフが病院へ搬送します。

保護者向け情報発信



本校が導入している教育プラットフォーム「Classi」を活用し、毎月の献立表や、お知らせ、寮生の様子、寮の行事のオンラインアルバム等が閲覧できます。遠く離れた保護者の方の多くがClassiを開いて、寮からの情報を楽しみにされています。



24時間館内外の安全確認。

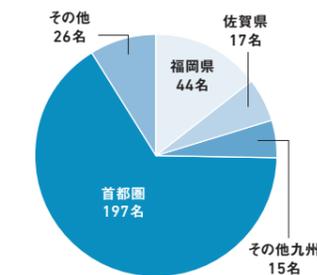


全員システムカードキーを携帯し、部外者は入館できません。

スタッフメッセージはこちら

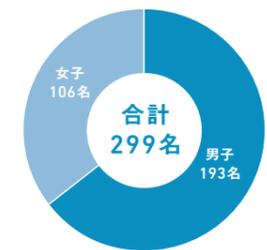


中学生 エリア別寮生出身地

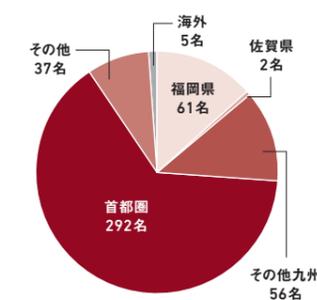


中学生 寮生構成

【男子】1年生:81名/2年生:58名/3年生:54名
【女子】1年生:44名/2年生:31名/3年生:31名

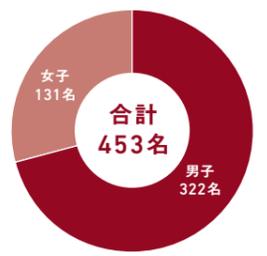


高校生 エリア別寮生出身地



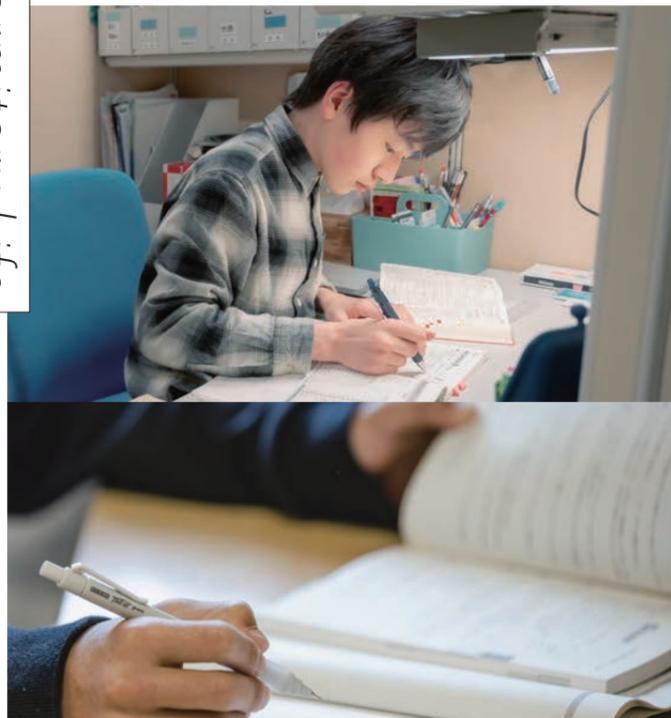
高校生 寮生構成

【男子】1年生:128名/2年生:99名/3年生:95名
【女子】1年生:58名/2年生:35名/3年生:38名



※情報は、2025年5月現在のものです。





寮での学習

生徒の本分は「学ぶこと」です。八太郎館では、自学自習を原則とし、日々計画的、主体的に取り組むよう指導しています。そのためには、今日自分は何をどこまで、どれだけこなさなければならないかを冷静に分析して、計画を立てることから始まります。学校や学習塾のように、予め決まっていた内容を、誰かが事前に用意しているような環境はここにはありません。また、それぞれの教科から出される課題を消化するだけでなく、授業と課題を結びつけて自主的に吸収し、定着させていく必要があります。学習室では指定されたブースがありますが、教材が常に整理整頓され、集中できる環境を保つことも勉強の一部です。つまり、自己管理能力が大切だということです。その環境の中で集中して学習に取り組んでいけば、必ず成果が上がるでしょう。

個室学習

高校2年生からは個室となり、学習は各自の居室にて行います。大学進学へ向けての高校学習内容は、じっくりと考え深く追究する姿勢が必要となります。落ち着いた空間の中で確保された学習時間は、本校生徒にとって必要不可欠なものとなっています。



寮での食事

山海の幸に恵まれた、地元唐津産の新鮮な食材も利用し、安全で美味しい食事を一人ひとりに提供しています。日々の食事の大切さに興味を持って美味しく食事してもらうために、ハロウィン、クリスマス、バレンタインデーやホワイトデーなどイベントでの特別メニューをはじめ、食育講座などのイベント開催や毎月の食記念日にまつわるメニューを提供しています。また、食堂では寮生からアンケートを取り、人気投票によってメインメニューを決定するなど、大切な食事の時間をもっと楽しんでもらえるよう、サービスの改善にも積極的に取り組んでいます。もしもの体調不良の際には、代替食(うどん・おかゆ)を提供し、成長過程にある寮生たちの「食」を全力でサポートします。



新入生歓迎 特別メニュー



ランチボックス

栄養バランスが整ったメニューで、ボリュームもたっぷり!

寮生の昼食は、寮のキッチンで調理されたものが学校に届けられます。毎日バラエティに富んだお弁当です。また、自宅通学生も申し込みれば利用できます。



献立について

寮生が楽しみにしている献立表。管理栄養士による栄養バランスとカロリーが計算されたメニューが自慢です。日々3食の献立表は、毎月Classiで各家庭にお知らせします。

※個別のアレルギー対応や成分表示はいたしていません。



中学校日課表

- 日課は学校行事等により変更になることがあります。
- リフレッシュタイムの21:35で携帯電話を預かります。



高校日課表

- 日課は学校行事等により変更になることがあります。
- リフレッシュタイムの21:45で携帯電話を預かります。



Message

同じ釜の友との出会い

私は中学入学と同時に八太郎館に入り、4年間の経験が経りました。いま感じているのは、寮という場所は「社会の縮図」であり、この経験は必ず将来に役立つと自信をもって言えることです。全国各地から集まった仲間との共同生活を通じて、協調性や思いやり、コミュニケーション能力を培うことができます。学校から近いので、学習やスポーツなどに打ち込めるのも魅力です。入寮時は不安ですが、不安が消えるのはあっという間です。ぜひ皆さんと一緒に寮生活をEnjoyしましょう!



高校2年生
東京都出身

寮だからこそ得られる財産

八太郎館では、将来に向けた、今までにない貴重な生活を送ることができます。私は入寮当初、親元を離れ、新しい環境で過ごすことに対して大きな不安と緊張を感じました。しかし、日本全国から集まった友人たちと出会い、みんなの明るさに励まされました。価値観が異なることで、時にはすれ違うこともありましたが、その度に話し合い、理解を深めてきました。また、勉強でつまづいた時には教え合い、共に一歩ずつ前進してきました。このような環境で過ごすことができることは、かけがえのない財産になると思います。



中学3年生
福岡県出身

キャリア学習会in八太郎館

1～2ヶ月に1回、希望者に向けて卒業生による学部説明や職業説明を実施しています。夜の時間にオンラインで実施するため、寮生だけでなく自宅生も参加することができます。大学の学びを尋ねたり、就職活動の様子や実際の職業の内容を聞いたりできるため、貴重な学びの場になっています。

【これまでの主な講演者】

- ・早稲田大学法学部卒業 弁護士
- ・早稲田大学商学部卒業 公認会計士
- ・早稲田大学国際教養学部卒業 編集者
- ・早稲田大学創造理工学部建築学科卒業 建築士 など



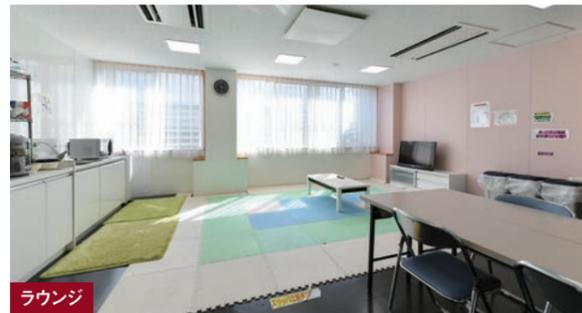
施設紹介



4人部屋 (男女共通仕様)



個室 (男女共通仕様)



ラウンジ



浴室



食堂



シャワールーム



エントランス



管理事務室



ランドリー室



4人部屋
男女共通仕様 女子仕様



個室
男女共通仕様 女子仕様



エントランス
男子寮



浴室
浴室(男子) 脱衣所(男子)



食堂

※QRコードを読み込むと、360度の映像で施設をご覧いただけます。

寮でのイベント

八太郎館では、年間を通してさまざまなイベントを計画しています。そのほとんどが寮の生徒会「八太郎会」のメンバーによって運営されています。



イベント年間カレンダー(予定)

(※)は希望者のみ参加

4月 ●入寮オリエンテーション

5月 ●BBQ体験(※)
●棚田鑑賞(※)
●ミュージカル鑑賞(※)

6月 ●ホテル観賞会(※)
幻想的なホテルの光をこれからも守っていくために、自然を守る意識を持ってもらいたいと願う企画です。

7月 ●夏まつり
夏休みを目前に控えた休日、女子は浴衣姿になって夏のひとときを楽しみます。初めての体験で感激する生徒も多い大人気のイベントです。

●花火鑑賞(※)
●サッカー観戦(※)

9月 ●野球観戦(※)

10月 ●溪流釣り体験(※)

11月 ●バスハイク(※)
●唐津くんち清掃ボランティア
●大相撲観戦(※)

12月 ●八太郎祭
年末に行われる餅つき大会とクリスマス会のイベントです。餅つき、ビンゴ、レクリエーションをみんなで楽しみ、つきたてのお餅を味わえる大人気のイベントです。
●ミュージカル鑑賞(※)
●星空(流星群)鑑賞会(※)

1月
2月 ●卒寮パーティ
●いちご狩り(※)

3月 ●民泊体験(※)
海・山・川・棚田など自然の名所がたくさんある唐津。日頃の生活では、なかなか触れることのできない「唐津の魅力」を民泊を通して、体験できる機会となっています。釣りをしたり、魚を捌いたり、そのほか日頃できない貴重な体験を民泊先の方のご協力のもと体験できます。

通年 ●西の浜瞑想体験(※)



2026年度中学校入試概要

【募集人員】120名(各入試区分合計)

**新思考
入学試験
(12月入試)**
 [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2025年12月7日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・首都圏
 [合格発表] 2025年12月12日(金)

**新思考
入学試験
(帰国生入試)**
 [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2025年12月7日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・首都圏
 [合格発表] 2025年12月12日(金)

**一般
入学試験
(1月入試)**
 [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2026年1月12日(月・祝)
 [試験会場] 唐津(本校)・佐賀・福岡・北九州・熊本・鹿児島・首都圏
 [合格発表] 2026年1月17日(土)

**一般
入学試験
(2月入試)**
 [募集形態] 併願
 [試験日] 2026年2月5日(木)
 [試験会場] 唐津(本校)・首都圏
 [合格発表] 2026年2月6日(金)

【入試結果】

	2025年度	2024年度	2023年度
志願者数	1,496名	1,547名	1,353名
合格者数	923名	893名	866名
入学者数	161名	136名	143名
男女別	男：101名 女：60名	男：89名 女：47名	男：85名 女：58名

※出願にあたっては、2025年秋に発行する募集要項を必ずご確認ください。

2026年度高等学校入試概要

【募集人員】120名(各入試区分合計)

**推薦
入学試験**
 [募集区分] 学力系・体育系(野球・ラグビー)・芸術系(吹奏楽)・S選抜(生徒会活動・英検・数検等)・帰国生
 [募集形態] 専願
 [試験日] 2025年12月13日(土)
 [試験会場] 唐津(本校)
 [合格発表] 2025年12月16日(火)

**帰国生
入学試験
(第1回)**
 [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2025年12月13日(土)
 [試験会場] 唐津(本校)
 [合格発表] 2025年12月16日(火)

**一般
入学試験
(1月入試)**
 [募集形態] 専願(5教科:本校/3教科:首都圏)・併願
 [試験日] 2026年1月11日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・佐賀・福岡・北九州・熊本・鹿児島・首都圏
 [合格発表] 2026年1月16日(金)

**帰国生
入学試験
(第2回)**
 [募集形態] 専願・併願
 [試験日] 2026年1月11日(日)
 [試験会場] 唐津(本校)・首都圏
 [合格発表] 2026年1月16日(金)

**一般
入学試験
(2月入試)**
 [募集形態] 併願
 [試験日] 2026年2月14日(土)
 [試験会場] 唐津(本校)・首都圏
 [合格発表] 2026年2月16日(月)

【入試結果】

	2025年度	2024年度	2023年度
志願者数	1,728名	1,712名	1,599名
合格者数	1,217名	1,179名	1,129名
入学者数	132名	105名	133名
男女別	男：98名 女：34名	男：74名 女：31名	男：94名 女：39名

学校説明会 [Web申込]

オープンスクール

中学オープンスクール

6/7(土) [唐津市/本校]

- 個別プログラム(希望制) 9:20-
- 全体プログラム 10:15-

高校オープンスクール

8/23(土) [唐津市/本校] 10:00-

学校・寮見学会

7/26(土) [唐津市/本校]

- 中学 | 第1回目 9:00- 第2回目 12:00-
- 高校 | 第1回目 10:30- 第2回目 13:30-

早稲田佐賀オンライン個別相談会実施!

参加には事前予約が必要です
本校ウェブサイトからお申込ください。

学校説明会

6/14(土) [佐世保市] 中高10:00-

6/21(土) [長崎市] 中高10:00-

6/28(土) [横浜市] 中高14:00-

6/29(日) [早稲田大学] 中11:00- 高14:00-

7/5(土) [鹿児島市] 中高10:00-

7/6(日) [宮崎市] 中高10:00-

入試説明会

10/19(日) [唐津市/本校]

中学 | 10:00- 高校 | 14:00-

10/25(土) [早稲田大学]

中学 | 10:00- 高校 | 14:00-

7/12(土) [熊本市][北九州市] 中高10:00-

7/13(日) [大分市] 中高10:00-

7/19(土) [佐賀市] 中高10:00-

7/27(日) [福岡市] 中高10:00- 早稲田大学オープンキャンパス共催

9/6(土) [早稲田大学] 中10:00- 高14:00-

9/17(水) [福岡市] 中高18:30-

中学校

学費 参考:2025年度 ※単位:円

	授業料	施設設備費等	教育充実費	合計
前期	262,200	153,000	55,000	470,200
後期	262,200	153,000	—	415,200
計	524,400	306,000	55,000	885,400

寮費 (2025年度) ※単位:円

入寮費	寮費(中学4人部屋)	食費	八太郎会費
入寮時 150,000	年額 504,000	年額 555,500	年額 5,000

生徒寄付金 (入学後)

1口 100,000円
2口以上(任意)

※上記の経費以外に制服・体操服代等及び諸費(約6万円)、生徒会費、部活振興費、後援会費が必要となります。
 ※入学時に入学金として11万円が必要となります。
 ※経済情勢の変化により学費・寮費が改定されることがあります。

高等学校

学費 参考:2025年度 ※単位:円

	授業料	施設設備費等	教育充実費	合計
前期	262,200	153,000	55,000	470,200
後期	262,200	153,000	—	415,200
計	524,400	306,000	55,000	885,400

寮費 (2025年度) ※単位:円

入寮費	寮費(高校4人部屋)	食費	八太郎会費
入寮時 150,000	年額 474,000	年額 555,500	年額 5,000

生徒寄付金 (入学後)

1口 100,000円
1口以上(任意)

※上記の経費以外に制服・体操服代等及び諸費(約5万円)、研修費等の実費(約10万円)、生徒会費、部活振興費、後援会費が必要となります。
 ※入学時に入学金として11万円が必要となります。
 ※経済情勢の変化により学費・寮費が改定されることがあります。



早稲田大学進学時の奨学制度

大学入学前に申し込む首都圏以外の受験生のための奨学金^{注1}

めざせ!都の西北奨学金

注1:本校の生徒は、学校の所在地、世帯収入以外の条件があります。

支給額 **450,000円～700,000円**

- 2021年度から本校は「めざせ!都の西北奨学金」の対象校となりました。
- 詳しい申請資格は、募集要項で確認してください。募集要項は、7月以降に大学ならびに奨学課のホームページに掲載されます。

<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

学校についてのQ&A

Q. 留学制度はありますか?

A. 一定の成績・条件を満たせば、高校1年の3学期にオーストラリア、ニュージーランド、カナダにターム語学研修(1月中旬から3月末)をすることができます。その他に、進級留学制度などもあります(P.06)

Q. 早稲田大学への推薦枠148名は、成績上位148名だけを推薦するというのですか?

A. 早稲田大学への推薦については、学力を基本的に総合的に判断して行いますので、成績上位148名ということではありません。なお、本校には、医学部・歯学部・薬学部・農学部など早稲田大学にはない学部・学科を希望している生徒も多くいます。したがって、学力向上面での教育としては、『難関国公立大学や医学部などに合格できる学力、実力で早稲田大学に合格できる学力』を身につけさせることを目標に置き、それを可能にするカリキュラムを準備しています。

入試についてのQ&A

Q. 専願入試はありますか?

A. 中高共に実施しています。中学は新思考・1月入試の際、高校は1月と帰国生入試の際、専願が併願を選択して出願してください。なお、高校の推薦入試はすべて専願です。

Q. 転入・編入試験の予定はありますか?

A. 転入学試験を実施する際には、本校ウェブサイトでお知らせいたします。

附設寮に関するQ&A

Q. どのような生徒が寮生活に向いていますか?

A. 言うまでもなく寮生活は集団生活です。家庭に比べハード面・ソフト面で何かと制約のある環境ですが、そのことに対する生徒及び保護者双方の理解がないとうまくいきません。中学1年生から高校1年生までは4人部屋です。そういった中で、寮の規則を守る、勉強・食事・清掃・お金や携帯電話の管理・書類の手続きなど自分のことは自分で正しくできる、自ら挨拶をして円滑に対人関係を構築することができる、最低限の生活能力がある、先生や友人に言いたいことは自分の言葉で伝えることができるかなどお子さまの適性を十分に見極めて、適切に判断してください。

Q. 土日や長期休暇中の帰省はどうなっていますか? 自宅が遠方の場合、迎えに行く必要はありますか?

A. 翌日が休日であれば原則としてその前日に帰省をすることは自由です。一方、夏季・冬季・春季には閉寮期間がありますので、部活動などの例外を除き必ず帰省することになっています。自宅が遠方の生徒も多数いますので、中学生のうちから友人たちと連れだって、自分たちだけで往復していることも多いようです。

その他のQ&Aにつきましては
WEBサイトでご確認ください





福岡市からも 佐賀市からもアクセス可 本校の約4割が自宅通学生。

福岡市は九州のみならず近年アジアの玄関口として大きな発展を遂げています。
その中心地である博多・天神より公共交通機関の利用で約80分で本校に通学できます。
九州大学も移転して急速な発展を見ている福岡市西部地区のすぐ隣です。



福岡方面から	博多高速バスターミナル・西鉄天神高速バスターミナル	バスで約70分	唐津バスセンター	校舎正門 ^{※2}	早稲田佐賀中学校・高等学校
	JR博多駅・地下鉄天神駅	地下鉄・JRで約80分	JR唐津駅	徒歩で約15分 ^{※1} スクールバスで約5分	
佐賀方面から	JR筑前原原駅	JRで約40分			JR唐津駅
	JR佐賀駅	JRで約75分	JR唐津駅	徒歩で約15分 ^{※1} スクールバスで約5分	
	JR伊万里駅	JRで約55分			

※1. 高校生は唐津駅から本校までの自転車利用が可能です。 ※2. 校舎正門への停車は朝のみとなります。唐津バスセンターからは徒歩で約10分です。



中学校 在校生出身校所在地 [在学学生426名] ※2025年5月現在

九州・中国・四国エリア

福岡県	124名	熊本県	6名	広島県	2名
佐賀県	42名	鹿児島県	5名	山口県	3名
長崎県	4名	沖縄県	1名		
大分県	5名	岡山県	1名		

首都圏エリア他

北海道	2名	神奈川県	31名	京都府	1名
宮城県	1名	千葉県	21名	奈良県	1名
山形県	1名	埼玉県	8名	大阪府	1名
福島県	1名	長野県	2名	兵庫県	2名
東京都	154名	愛知県	3名	海外	4名

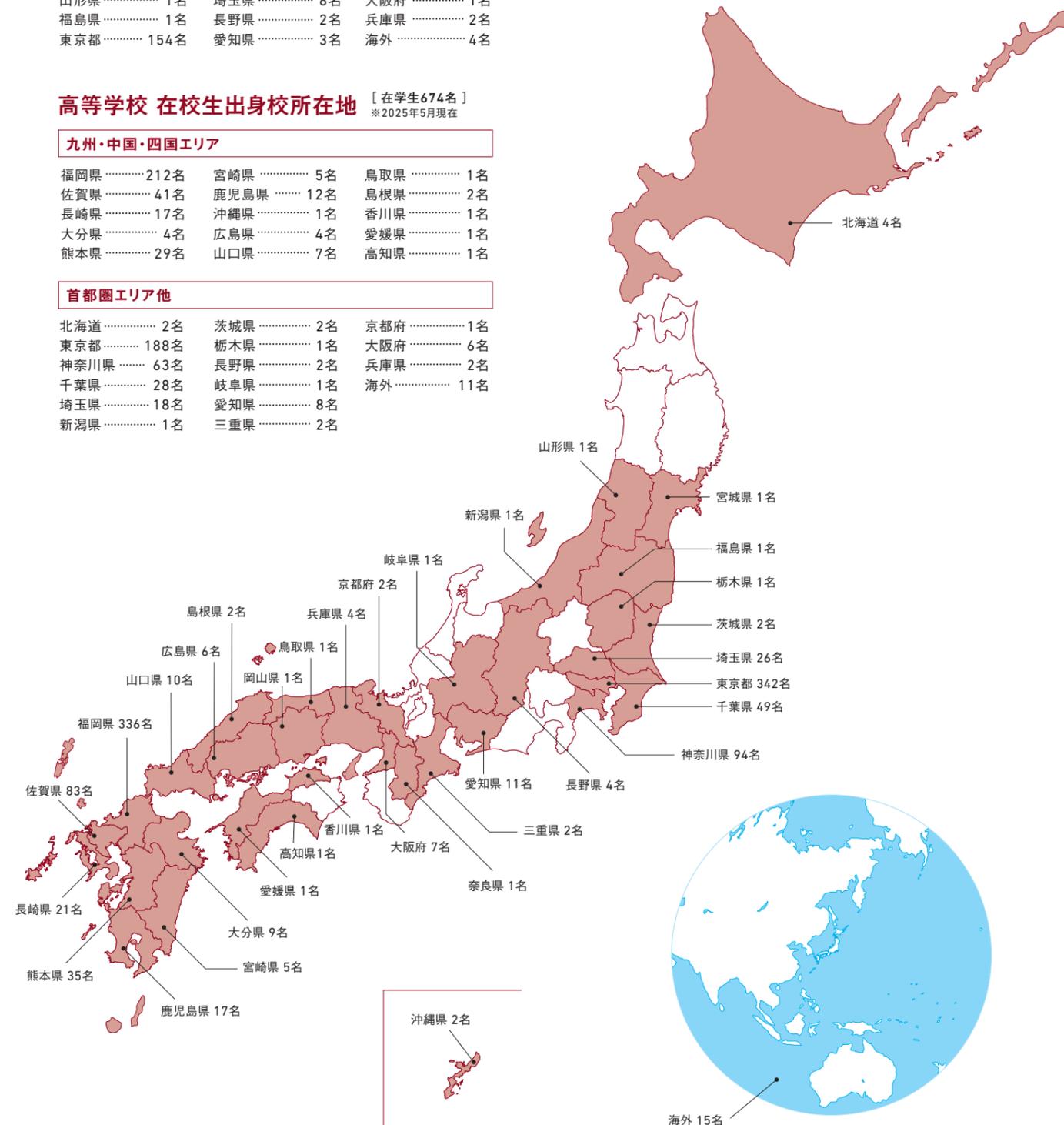
高等学校 在校生出身校所在地 [在学学生674名] ※2025年5月現在

九州・中国・四国エリア

福岡県	212名	宮崎県	5名	鳥取県	1名
佐賀県	41名	鹿児島県	12名	島根県	2名
長崎県	17名	沖縄県	1名	香川県	1名
大分県	4名	広島県	4名	愛媛県	1名
熊本県	29名	山口県	7名	高知県	1名

首都圏エリア他

北海道	2名	茨城県	2名	京都府	1名
東京都	188名	栃木県	1名	大阪府	6名
神奈川県	63名	長野県	2名	兵庫県	2名
千葉県	28名	岐阜県	1名	海外	11名
埼玉県	18名	愛知県	8名		
新潟県	1名	三重県	2名		



虹の松原

唐津湾沿いに全長約4.5km、幅約500mにわたって、虹の弧のように連なる松原。唐津藩初代藩主、寺沢志摩守広高が、防風・防潮林として植林し、その数は約100万本と言われています。日本三大松原の一つで、国の特別名勝に指定。素晴らしい景観を保全するため、本校の生徒たちも地域ボランティアの一環として清掃活動に参加しています。

唐津城

本校の生徒たちを見守るようにそびえたつ唐津城。豊臣秀吉の家臣、寺沢広高が、1602(慶長7)年から7年の歳月をかけて築城しました。展望所からは、唐津の雄大な景観が一望できます。

早稲田佐賀中学校 早稲田佐賀高等学校

西の浜

本校や唐津城に隣接している、女界灘の島々が目の前に広がる景色の良いビーチです。最近ではSUP(スタンドアップパドル)を楽しむ人でにぎわい、本校の生徒も楽しんでいます。



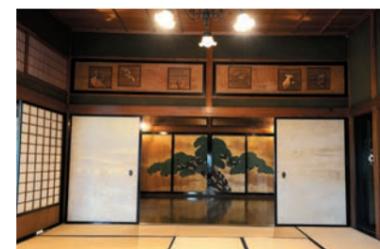
唐津くんち

毎年11月2・3・4日の3日間にわたって開催される唐津神社の例大祭。2016年には、ユネスコ無形文化遺産に登録。「エンヤ、エンヤ」「ヨイサ、ヨイサ」のかけ声で、大きな曳山(ヤマ)が唐津のまちを駆け抜ける勇壮なお祭りです。「赤獅子」「鯛」「鯨」など、14台の曳山がずらりと並んだ光景は、まるで極彩色の絵巻のよう。八太郎館の前は曳山の巡回ルートで、祭りの盛り上がりを見守ることができます。



旧唐津銀行「辰野金吾記念館」

城下町の風情漂う唐津のまちなかに、優雅に佇む旧唐津銀行。東京駅を設計した唐津出身の建築家、辰野金吾の監修で、1912(明治45)年に竣工、現在は地域情報の発信の場として活用されています。



旧高取邸

1905(明治38)年に建てられた、炭鉱王・高取伊好の邸宅です。和風を基調としながらも、洋館が併設されるなど近代和風建築の素晴らしさを随所に堪能できます。



名護屋城跡

豊臣秀吉の「文禄・慶長の役」で、出兵拠点として築かれたのが名護屋城です。徳川家康や伊達政宗など全国から諸大名が集まり、城周辺には130以上の陣跡が点在しています。